

項目	内容
名称	ホーリーバジル、カミメボウキ、トゥルシー [英]Holy basil、tulsi [学名]Ocimum sanctum、Ocimum tenuiflorum Heyne ex Hook.f
概要	ホーリーバジルは、インドや東南アジアに分布するシソ科の多年草で、高さ45～60 cm程度に生長する。葉は長円形から卵形で長さ3 cm、スパイシーな香りがする。一般的に香辛料などとしてよく知られているハーブ（バジル）とは異なり、インドの伝統医学（アーユルヴェーダ）で利用されてきたハーブのひとつである。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <p>「専ら医薬品として使用される成分本質（原材料）」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質（原材料）」にも該当しない。</p>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	
分析法	<p>・葉抽出物中のフェノール酸、フラボノイド、プロペニルフェノールおよびテルペノイドをUPLC-ESI/MS/MSを用いて分析した報告がある (PMID:26268610)。</p>
有効性	
ヒト循環器・呼吸器で	調べた文献の中に見当たらない。

の 評 価	消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
	糖尿病・ 内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・ 感覚器	RCT ・健康な成人男性40名（試験群20名、平均27±2.82歳、インド）を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、ホーリーバジル葉抽出物300 mgを30日間摂取させたところ、記憶テストならび認知心理学検査の4項目中3項目で反応時間の減少が認められ、3項目中2項目での不正回答数の減少が認められたが、その他の項目には影響は認められなかった (PMID:26571987)。
	免疫・がん・ 炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。	
参考文献	(20) ハーブ大百科 誠文堂新光社 デニ・バウン (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について) (34) 有用植物和・英・学名便覧 北海道大学図書刊行会 由田宏一 (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS) (PMID:26571987) Indian J Physiol Pharmacol. 2015 Jan-Mar;59(1):69-77. (PMID:26268610) Phytochem Anal. 2015 Nov-Dec;26(6):383-94.	